



市の人口●128,775人 (+732人)
男65,739人 女63,036人
市の世帯数●53,556世帯 (+723世帯)
平成21年9月1日現在 ()は前年同月との増減

- ざま子ども議会議員の紹介(2面)
- みんなの健康(3面)
- 犯罪のない安全で安心なまちづくり(4・5面)
- ざまインフォメーション(6・7面)
- 子ども読書活動の推進!(8面)

みんなで作る ざまの未来 ざま子ども議会を開催



八月二十日、市内の小・中学生二十三人が参加し「ざま子ども議会」を開催しました。ふるさと座間の将来を担う次世代の子どもたちが、自分の視点で質問や提案をし、市長らが真剣に回答しました。

政策課 046(252)8287
046(255)3550

市内小・中学生が、市の将来のまちづくりなどについて質問し、市長や副市長、教育長、部長らが答える「ざま子ども議会」を八月二十日に、市役所議場で開催しました。

この子ども議会は、次期総合計画を策定するに当たり、ふるさと座間を担う次世代の意見を反映するため企画したものです。平成十三年に市制施行三十周年を記念して実施して以来、今回が二回目の開催です。子ども議会に参加した子ども議員は、市内すべての小・中学校から推薦された二十三人(小学校十一校から各一人、中学校六校から各二人)です。

当日は、午後一時四十分の市長あいさつに続いて開会し、一般質問、議員提案「ざま子ども議会宣言」の採択が行われました。議長には、みんなで決めた中学生が当たり、前半を高杉光



各議員が一回ずつ壇上に立つ一般質問は、福祉や環境、教育など多種多様な内容でした。「市内に総合病院の誘致を」「道路幅を広くして」「勉強に興味を持てるようなイベントを増やして」「キャンプ座間の小学生と交流したい」など、将来のまちづくりについて、子どもの視点からの提言や質問をしていました。また、児童・生徒が市民の一員として、今後、何か

目標を持って行動して欲しいとの考えから、子ども議会議員提案による「ざま子ども議会宣言」が採択されました(左記参照)。提案理由は、山口菜穂議員(西中)が代表して発表しました。

参加した児童や生徒からは、「普段経験できないことができた」、「子どもでも座間市の役に立って嬉しかった」、「もっと私たちの住む座間のことを学びたい」などの感想が聞かれました。

子どもたちの顔は、開会前は、緊張でこわばっていましたが、しかし、最後には、学校の代表という大役を無きません。

※子ども議会の各議員の紹介は二面に掲載しています。

(当日の議事録などは、ホームページ [URL] <http://www.city.zama.kanagawa.jp/> をご覧ください。)

事果たした安堵感と、自分たちの意見が活かされた市になっほしいという期待感にあふれていました。

質問や提言は、「こういう考え方や悩みもあるのか」、「こういう問題意識を持っているのか」と考えさせられる優れたものばかりでした。頂いた質問を各担当の部局で、本当にねじり鉢巻で真剣に考え、答えました。

平成二十三年度から三十二年度を計画期間とする次期総合計画が、策定され、実行され、終了する十二年後には、子ども議員から頂いた意見、提言が反映された市政になるよう努めていきます。



ざま子ども議会宣言

- ・座間のおいしい水や美しいひまわりなど、豊かな自然を守り、緑を増やしていく努力をします。
- ・ゴミの分別、リサイクルなど地球にやさしい活動に積極的に取り組み、座間の環境問題により関心を持ちます。
- ・人と人とのつながりを大切に、あたたかな地域になるように取り組んでいきます。
- ・お年寄りや身体の不自由な人はもちろん、座間市のみんなが安心して生活でき、協力し合い、思いやりのあるまちになるよう、努力します。
- ・防犯防災に対しての一人一人の意識を高め、安心安全な生活が送れるように努力していきます。
- ・色々な国の文化とふれあいながら共に生きていきます。

宣言日 平成21年8月20日